

熱中症にご用心



毎日暑く、熱中症の起こりやすい時期です。高温・多湿な屋外や屋内での運動時に多く発症しています。

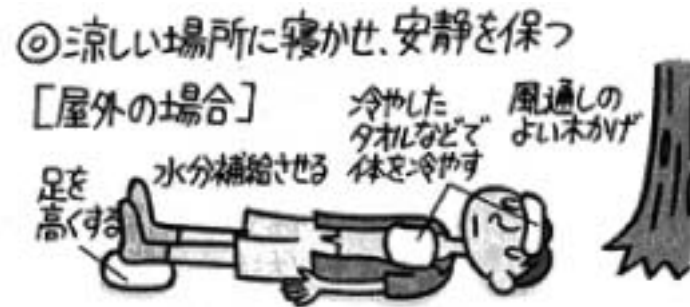
万一の時のために、手当てのポイントを覚えておきましょう。

主な症状 頭痛、吐きけ、めまい、脱力感、手足や腹筋などの筋肉のけいれん、唇のしびれなど。

予防方法 こまめに水分補給（スポーツドリンクなど）をする。体調が悪い時には無理をしない。

手当てのポイント

- 涼しい場所で衣服をゆるめ、足を高くして横になる。
- 首や脇の下、足の付け根などを氷やぬれタオルで冷やし、うちわで風を送り体温を下げる。
- スポーツドリンクなど水分をとる。（吐きけなどで水分がとれない時は、点滴を受ける必要があります。）



※症状が治まらない場合や、言動がおかしい、呼びかけに対し反応がにぶい場合は、早く病院に連れて行きましょう。

硫化水素ガス発生時の二次被害防止には、まず避難!

最近、硫化水素ガスの発生により、周辺住民などが巻き添えになる例が多く見られ、深刻な問題になっています。

硫化水素ガスは一般的に「卵の腐ったようなにおい」がするといわれ、その濃度によっては一呼吸で急激な中毒症状を起こし、死に至る場合があります。

また、このガスは無色で空気より重いため、2階建て以上の建物の上階で発生した場合、その階下で被害が出る場合があります。

そのため、少しでも臭気を感じたら、その場から早期に避難してください。

上半期の火災・救急・救助統計

4月から5月に火災が多発

火災原因は、枯れ草焼きやゴミ焼きなど、火気の取り扱いの不注意や不始末で起こったものがほとんどです。火気の取り扱いには十分注意し、火災予防に努めましょう。

一方救急は、昨年同期に比べ22件増加し、搬送された方の約7割は65歳以上の高齢者となっています。

